



さあ、新しい年度がスタートします！

新しい年度を迎え、2年生、3年生はそれぞれ1つ学年が上がり、新1年生を迎え、また新たな雰囲気、気持ちで学校生活がスタートします。

今月は、新年度のスタートに当たり、私の好きな言葉(尊敬する先生から教えてもらった言葉ですが)を紹介します。それは「星を望み 地を歩む」です。星は“理想”を、地は“現実”を表し、「理想と現実の2つをしっかりと繋げて考えることが大切である」という意味だと私は考えています。

つまり、理想ばかり追っていても目の前のやるべきことが疎かだ前に進めないし、逆に、行き当たりばつかりに取り組んでいても同じことです。理想に近づくためには、今何をやるべきなのかを考え、取り組んでいくことが大切です。

私自身、若い頃に授業や生徒のことで色々悩むことが多かったときに、この言葉とその意味を教えてくださいました。そして、結果より、理想を見失わず挑戦していくことが大事であることが分かり、元気が出ました。全て上手くいったわけではありませんが(むしろ失敗が多かったような気がします)、やってきたことは無駄ではなかったと考えています。皆さんもぜひ、1年後の理想の自分をイメージし、1日1日を大切に過ごして下さい。

写真

5大会連続となる夢舞台への出場を逃したものの力を出し切った結果に「割とすがすがしい。悔しいけれど晴れ晴れというか、やりきった感がある」とその表情に悲壮感はなかった。

～スポニチアネックス記事より掲載～

リオ選考会決勝を終えた「北島康介」選手